

しあわせ メッセージ

幸福の手紙

審査総評

- 一次選考を経て私のところに届いた52通の「幸福の手紙」はどれもすばらしい内容で、読ませていただくうちに私自身がとても幸せな気持ちになりました。「頑張れ」という励ましの言葉、「大丈夫」という肯定の言葉、「自分らしくあれ」という承認の言葉、「味方だよ」という連帯の言葉、「おはよう」や「おかえり」と言った日常の暖かい言葉。様々なすばらしい言葉の中で、私が特に感銘を受けたのは、「自分の名前を呼んでもらうこと」と書いた作品でした。まさにその通りだと思いました。大きな感動をいただき感謝しています。
- NO. 5の「ママ！ギュー」、NO. 136「車の中で暖まりませんか」、NO. 34「一緒に同じ道で帰ろうか」は、心が温かく、元気になる言葉で、私もほっこりしました。そのほかの作品は、クラブ活動を通して、苦しいときや怪我をしたとき、コーチや仲間、家族に励まされたとき、いただいた言葉で元気になった様子が書かれています。周りに困っている人や悩んでいる人がいたら、今度は自分たちが、元気になるような温かい言葉がけをお願いします。
- 安直なネットの中に「元気をもらえる言葉」なんてないと思う。しっかり目を合わせた心の言葉が人に響きます。そんな視点で選びました。
- 人には必ず「元気をもらったことば」が一つ以上心の中に持っていて、その言葉のおかげで「今」を一生懸命生きることができているのだなど、改めて感動しました。10作文を選ばせていただきましたが、人の「大事なもの」を選別するのはとても難しい作業でした。その中で「普遍的な価値」が感じられたものを選んだつもりでおります。
「元気をもらった言葉」を考えるととても幸せを感じられると思うので、この課題は次年度もあってもよいのではないのでしょうか？
- 「元気をもらった言葉」のテーマであるが、参加いただいた皆さん1人1人の人生の中で、必ずあるものであるし、日々の生活の中、何気ない一言や挨拶も、人生の中では一生に関わる言葉があることが、あらためて分かりました。
元気を届けられる挨拶、会話を心がける気づきができる良かったです。
- 心が温まる内容と思い推薦いたしました。コミュニケーションの重要なポイントが伝わり、相手の心に響く言葉がけの大切さを再確認致しました。大変勉強になりました。
- 幸福の手紙（元気をもらった言葉）を全作品3回期間をおいて読ませていただき、審査させてもらいました。学生、職場、年齢、環境等によって、とらえ方感じ方が違うと思いますが、インパクトのある作品10点選ばせてもらいました。
全体的に母や祖母から元気をもらった言葉が多かったように思います。各々、元気もらい方は違いますが、心に沁みる言葉が多かったと思います。貴重な作品を読ませていただき、有難うございました。